

補助事業番号 20-1-044

補助事業名 平成20年度生活習慣病の基礎的研究機器の整備補助事業

補助事業者名 財団法人 日本心臓血圧研究振興会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

当施設は小児から成人におよぶすべての循環器領域を専門とした臨床研究施設であり、臨床の第一線で高度医療の提供、臨床研究による新しい診断法や治療法の確立を目標としている。本事業の目的は生活習慣病や先天性心疾患を有する症例を対象として、心臓を中心とした三次元画像情報をデジタルデータとして保存し、的確に分析した情報を院内に配置した電子カルテで必要に応じて取り出せる環境を構築することで

(2) 実施内容

先進機能を搭載した新しい心エコー図診断装置で三次元動画を記録し、迅速かつ的確な心疾患診断と心機能評価を行う。同時に、電子カルテから必要に応じて任意の三次元画像を取り出すために必要十分なシステムの構築を目指す。

2. 予想される事業実施効果

本システムにより非侵襲的に心臓を中心とした三次元データが得られることは、小児先天性心疾患の診断能を向上させ、成人の生活習慣病に基づく心疾患を的確に評価することにつながり、年余にわたる経時的変化を科学的に経過観察することを可能にする。特に心エコー図画像の特徴である高い空間分解能と時間分解能を活用すれば、その他の画像診断では得られなかった情報が獲得できる。この三次元データは従来の二次元データでは得られなかった画像の提供を可能にするため、新生児症例、小児症例の先天性心疾患例では新たな三次元画像に基づいた定量的評価が積極的に行われ、さらに成人に至る過程の経年変化が評価されることになり、これらの疾患の中・長期的管理における画像診断の新たな価値が見いだされることが考えられる。また成人の生活習慣病症例でも、長期間にわたる経年変化をとらえることが可能となり、この画像診断の新たな価値が構築されうると予測される。小児症例でも成人症例でも、このような長期間にわたる同時閲覧が可能なのはその比較を容易にし、医療の質における画像診断の価値を画期的に高め、同時に、学術的価値の高い情報を多角的に発信するための資料となることが期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

事業報告書（約1000部）

ポスター

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人日本心臓血圧研究振興会

（ザイダンハウジンニホンシンゾウケツアツケンキュウシンコウカイ）

住所：162-0054

東京都新宿区河田町8-1

代表者：理事長 細田 瑛一（リジチヨウ ホソダサイチ）

担当部署：事務局（ジムキョク）

担当者名：数見由紀（カズミユキ）

電話番号：03-3357-7643

F A X：03-3353-8090

E-mail：なし

U R L：<http://www.sakakibara-heart.com/>